

地質ニュース

第575号 2002年7月

目 録

福井県大野市打波川流域の石灰華形成地……………伊藤 一康・寺田 和雄・1

特集：環境を記録する生物 I

環境を記録する生物……………	川幡 穂高・4
浮遊性有孔虫が記録する海洋環境—どのような環境指標として有効か?— ……………	黒柳あずみ・5
有孔虫殻の化学・同位体組成を用いた古環境間接指標の評価 —飼育実験からのアプローチ—……………	豊福 高志・12
古海洋環境指標としての円石藻……………	田中裕一郎・19
サンゴ骨格を用いた古海洋環境の復元……………	井上麻夕里・26
古環境指標としての石灰藻……………	井龍 康文・松田 伸也・34
シャコガイが記録する日単位の環境変動……………	渡邊 剛・42
アンモナイトに記録された太古の古環境を読む……………	守屋 和佳・48
用語解説……………	川幡 穂高・53

福井県大野市打波川流域に見られる石灰華形成地……………伊藤 一康・寺田 和雄・55

東海地方で開発された地下空洞の調査と充填工法……………藤井 紀之・62


お知らせ 新潟地質情報展……………地質調査情報部・71

編集後記……………72

表 紙

福井県大野市打波川流域の石灰華形成地：福井県大野市北東の打波川流域には、冷泉性の石灰華形成地が川に沿って3ヵ所みられる。飛騨変成岩類中の結晶質石灰岩を融解した地下水が、鳩ヶ湯(鳩ヶ湯-小池)断層またはそれに付随した断層によって地上に湧出し、炭酸カルシウムが析出して石灰華が形成していると考えられる。写真は本文中第2地点の中央部(下部)の石灰華で、色彩や形状が多様である。

(写真と文：伊藤一康・寺田和雄)

 産業技術総合研究所
地質調査総合センター

Geological Survey of Japan / AIST

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 0298-61-3754

Fax. 0298-61-3569

<http://www.gsj.jp/>